

身だしなみを整えよう

最近2年生の廊下を歩いていると、上履きを踏んでいる人が気になります。体も大きくなり、上履きが小さくなっているのでしょうか。きつくなってしまうたら、新しいものを購入しましょう。靴下の色が紺と黒以外のものを履いている人もいます。靴下は紺か黒。ベストは紺か黒かグレーです。間違えないようにしましょう。

前回に続き、職場体験のしおりの中の『「働くということ」「将来のこと」について考えたこと』に書かれていたことを抜粋して紹介します。今回はC組です。

C組

自分が希望していたわけではなかったのですが、思ったよりも楽しかったし、スタッフの方々もみんな優しくて良かったです。また、ジムの仕事では、あいさつをしたり、機械を使わせてもらったりしたことが、良い経験になりました。

「働く」ということは、大変なことで、自分の生きがいややりがいを感じられたからこそ、できることだと思いました。また、まだ将来の夢ややりたいことが決まっていなくても、この職場体験を通して、色々な仕事を体験してみたくなったと思います。なぜなら自分がそうだからです。「やりたいことが見つからない」というのは、どんな職業があるのかわからないからだだと思います。だから、まずは自分の好きなことや興味のあることを探してみれば良いと思います。

C組

僕は職場体験を通して、「働くということ」「将来のこと」について考えたことがあります。それは人の役に立つには、人から見られないところの仕事も大切ということです。僕は最初「歯医者の方は歯の治療だけについて学んでいるのかなぁ」と思っていました。しかし、やったのは単純作業でした。僕は「単純作業は簡単で意味がない」と思っていたのですがやってみると大変で、お客さんがスムーズに治療できるようにやることを知りました。このような経験をしたので、人の役に立つためには、「人に見られていないところでの仕事も大切」ということを改めて学びました。



C組

私は「働くということ」「将来のこと」について、自分のためだけでなく、社会や家族、身の周りの人のためでもあると実感しました。なぜなら職場体験を通して、様々な部署の方々が別の仕事をして、その結果が社会や身の周りの方、それぞれの役に立っていることを知ったからです。西東京市役所では、学生や高齢者の相談にのったり、普段、目にするもののある西東京市のチラシなどで様々な情報を伝えています。そしてその情報が社会や地域の方々の役に立っているのは間違いのない事実です。このように私は「働くということ」「将来のこと」について、社会の貢献や身の周りの人のためでもあると考えました。そして、この職場体験の活動を都内めぐりや修学旅行などの様々な面で生かしていきたいと思いました。

C組

好きなことや長続きできる仕事に就きたいと思っており、その一つとして小学校や中学校などの教育がありましたが、実際に体験して、楽しいと思うこともあれば、大変と覚えることも多くありました。今回は低学年（1年生）の子がメインでお仕事をさせて頂き、体力勝負だと思いました。授業中にけんかを始めてしまったり、休み時間は外で元気に遊ぶなど、気を抜く瞬間が全くありませんでした。怪我や泣いてしまう子も見かけ、授業が遅くなったりもしました。改めて、小学校について思ったのは、幅が広いということです。1階の教室でこんなことが起きているのに、上の高学年の教室では、静かに授業を受けているからです。「1つの校舎の中でも違うんだ」と改めて思いました。体験のみでしたが、とても楽しかったので、自分に合っていると感じましたが、これからも幅広く道を切り拓けるよう将来について考えたり、勉強を頑張りたいです。

